



株式会社荏原製作所

2021年12月期第3四半期決算説明会

2021年11月12日

イベント概要

[企業名]	株式会社荏原製作所
[企業 ID]	6361
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2021 年 12 月期第 3 四半期決算説明会
[決算期]	2021 年度 第 3 四半期
[日程]	2021 年 11 月 12 日
[ページ数]	20
[時間]	17:30 – 18:14 (合計：44 分、登壇：15 分、質疑応答：29 分)
[開催場所]	インターネット配信
[登壇者]	2 名 執行役 グループ経営戦略・人事統括部長 永田 修 (以下、永田) 執行役 経理財務統括部長 細田 修吾 (以下、細田)

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





2021年12月期 第3四半期 決算説明会資料

荏原 (6361)

2021年11月12日

Looking ahead,
going beyond expectations
Ahead  *Beyond*

株式会社 荏原製作所

松下：お待たせいたしました。本日はご多用のところ、株式会社荏原製作所、2021年12月期第3四半期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまより、会を始めさせていただきます。

本日の15時に決算関連の書類を、東証のプラットフォーム、ならびに当社ホームページに開示しております。そちらもご覧いただきながら、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

私どもの出席者をご紹介します。グループ経営戦略・人事統括・IR担当執行役、永田でございます。

永田：永田でございます。よろしくお願いいたします。

松下：経理財務担当執行役、細田でございます。

細田：細田でございます。よろしくお願いいたします。

松下：司会は経営企画部、松下が務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日のスケジュールでございますが、決算概要を永田より説明させていただき、その後に皆様からのご質問をお受けいたします。終了時刻は18時30分を予定しております。

また、本日の会議の内容は、Zoomのオンデマンドにて聞くことができます。詳細は、会議終了後にメールにてご連絡いたします。

それでは、永田より説明に入らせていただきます。

目次		EDAMA	
決算ポイント	P3	4. 補足資料	
1. FY21 1-3Q 連結決算サマリ		・受注高	P12
・連結業績	P4	・売上収益	P13
・セグメント別	P5	・営業利益	P14
・地域別売上収益	P6	・受注残高	P15
2. FY21 1-3Q セグメント別業績		・地域別売上収益	P16
・風水力	P7	・貸借対照表	P17
・環境プラント	P8	・キャッシュ・フロー	P18
・精密・電子	P9		
3. FY21 業績予想			
・連結業績	P10		
・セグメント別	P11		

■ 略語の説明

- ・ FY：会計年度（例「FY21」は2021年12月期会計年度）
- ・ 「1Q」は第1四半期の数値。「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している
- 本資料で示す財務数値はIFRSベースで記載している（FY211QよりIFRS適用）

永田：改めてこんにちは。グループ経営戦略・人事統括部の永田です。

本日はご多用の中、当社の決算説明会にご参加いただきましてありがとうございます。

まずは、私から2021年12月期第3四半期の業績の概要および通期業績予想についてご説明させていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

決算ポイント



FY21 1-3Q業績

		前年同期比*
■ 受注高	5,768 億円	+57.4% ↗
■ 売上収益	4,199 億円	+13.8% ↗
■ 営業利益	373 億円	+69.8% ↗

FY21 業績予想

		前期比*
■ 受注高	7,310 億円	+43.0% ↗
■ 売上収益	5,915 億円	+13.2% ↗
■ 営業利益	560 億円	+49.1% ↗

*↗ は+5%以上、↘ は-5%以下の変化を、→ は変化が±5%未満であることを表す

トピックス

■ FY21 1-3Q業績

風水力事業、環境プラント事業、精密・電子事業で受注高・売上収益・営業利益が前年同期比で増加
全社業績は過去最高を更新

■ FY21 業績予想

精密・電子事業の受注予想を300億円上方修正、半導体市場の設備投資は好調を維持する見込み
全社業績において過去最高益を見込む

■ 外部環境

部材・原材料価格の高騰、東南アジアのロックダウンによる部材調達難及び半導体不足による今期業績への影響は軽微。来期業績への影響を最小化すべく施策を進めていく

■ 自己株式の取得状況

10月末時点で上限200億円に対して155億円買付済み（進捗率77.7%）

3 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead Beyond

それでは、スライドの資料の3ページをご覧ください。

まず、当決算のポイントについてご説明いたします。

当第3四半期決算は、コロナ禍からの経済活動の再開や、半導体需要の高まりなどを背景に、風水力事業、環境プラント事業、そして精密・電子事業の各事業において前年同期の受注、それから売上、営業利益を上回る結果となりました。

9カ月間の全社連結業績および風水力と精密の各事業に関しては、過去最高を更新いたしました。

今期の通期の業績予想につきましては、8月13日に公表しました業績予想に対して、半導体市場における活発な設備投資が継続して、当社の受注も好調に推移していることから精密・電子事業の受注高を300億円上方修正して、全社の受注を7,310億円にいたしました。

売上営業利益の予想につきましては、8月の公表値から変更はなく、営業利益は過去最高益となる見込みでございます。

なお、足元では資材価格の高騰とか部材調達の遅延、半導体不足などの影響が顕在化してきておりますけれども、今期業績への影響は軽微と考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



引き続き、販売価格への転嫁や原価低減、それから調達網の見直しなどによって対策を講じていきます。

また、5月に決議して現在進行中の実行株式の取得状況ですけれども、10月末の現在では取得金額ベースになりますけれども、進捗率約78%へと着実に推移している状況でございます。

以上が、当決算の要点でございます。

1. FY21 1-3Q 連結決算サマリ 連結業績



(単位：億円)	FY20 1-3Q	FY21 1-3Q	増減	増減率
受注高	3,664	5,768	+2,103	+57.4%
売上収益	3,690	4,199	+509	+13.8%
営業利益	220	373	+153	+69.8%
営業利益率	6.0%	8.9%	+2.9pts	
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	122	246	+123	+100.9%
為替レート (JPY/USD)	107.57	108.57		

それでは、詳細の説明に入ります。4ページをご覧ください。

当第3四半期決算の連結業績になります。

受注は前年同期から2,103億円増加して5,768億円。売上が509億円増加して4,199億円。

営業利益に関しては、153億円増加して373億円。営業利益率は2.9ポイント改善して8.9%となっております。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、123億円増加して246億円と、受注・売上・営業利益、最終四半期利益は、第3四半期累計期間においていずれも過去最高を更新しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



1. FY21 1-3Q 連結決算サマリ セグメント別



(単位：億円)		FY20 1-3Q	FY21 1-3Q	増減	増減率
連結合計	受注高	3,664	5,768	+2,103	+57.4%
	売上収益	3,690	4,199	+509	+13.8%
	営業利益	220	373	+153	+69.8%
	営業利益率	6.0%	8.9%	+2.9pts	
風水力	受注高	2,223	2,585	+362	+16.3%
	売上収益	2,207	2,378	+170	+7.7%
	営業利益	112	153	+40	+35.9%
	営業利益率	5.1%	6.5%	+1.4pts	
環境プラント	受注高	479	1,196	+716	+149.5%
	売上収益	439	500	+60	+13.7%
	営業利益	38	41	+2	+5.3%
	営業利益率	8.9%	8.2%	-0.7pts	
精密・電子	受注高	950	1,972	+1,022	+107.5%
	売上収益	1,032	1,308	+276	+26.8%
	営業利益	76	180	+104	+136.7%
	営業利益率	7.4%	13.8%	+6.4pts	
その他、調整	受注高	11	13	+2	+18.0%
	売上収益	11	12	+1	+10.3%
	営業利益	-8	-1	+6	-
	営業利益率	-71.8%	-10.0%	+61.8pts	

続いて、5 ページ目をご覧ください。

こちらはセグメント別のサマリーになります。各事業で、いずれも前年同期の業種を上回っております。

風水力事業では、建築設備市場や石油・ガス市場は需要が回復傾向にあって、受注・売上は、前年同期を上回っております。

営業利益は、中国市場の早期回復による増収に加えて、カスタムポンプ、コンプレッサ・タービンの両事業における採算性向上が継続したことによって増益となっております。

環境プラント事業につきましては、今期はごみ処理施設の新設や施設改修、それから長期包括案件などの大型の案件の受注が増えてきていまして、受注は 1,000 億円を超えております。

売上営業利益につきましても、前年同期を上回っております。

精密・電子事業につきましては、顧客による設備投資の拡大の動き、それから、顧客の工場稼働率も依然高い状況が継続したことで、受注・売上・営業利益はいずれも前年同期を大幅に上回りました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



1. FY21 1-3Q 連結決算サマリ 地域別売上収益



(単位：億円)	FY20 1-3Q		FY21 1-3Q		増減	増減率
	実績	構成比	実績	構成比		
連結合計	3,690	100.0%	4,199	100.0%	+509	+13.8%
日本	1,647	44.6%	1,792	42.7%	+144	+8.8%
海外	2,043	55.4%	2,407	57.3%	+364	+17.8%
中国	551	14.9%	788	18.8%	+237	+43.1%
アジア (中国除く)	718	19.5%	783	18.7%	+64	+9.0%
北米	332	9.0%	315	7.5%	-17	-5.1%
欧州	242	6.6%	247	5.9%	+5	+2.2%
中東	126	3.4%	139	3.3%	+12	+10.2%
その他	72	2.0%	132	3.2%	+60	+83.6%

※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す

6 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead Beyond

続いて、6 ページのほうをご覧ください。

こちら、地域別売上収益構成になります。

コロナ禍から需要回復によって、中国は各事業セグメントにおいて前年同期を上回って好調に推移しました。一方で、ほかの地域では、需要の回復に差が見られました。

風水力事業では、主に東南アジアでのコロナ感染の再拡大に伴うロックダウン、これによって工場の一時的な操業規制などの影響を受けましたが、欧州、南米では需要の回復が見られております。

それから、精密・電子事業においては、顧客の設備投資意欲は依然として高く、全地域で前年同期を上回りました。

セグメントごとの地域別売上収益は、16 ページにも掲載しておりますので、そちらもご参照ください。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



2. FY21 1-3Q セグメント別業績 風水力



業績推移 (単位：億円)



売上収益S&S比率

	FY20				FY21			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
風水力	41.1%	38.9%	35.8%	35.5%	35.7%	34.3%	32.9%	-
ポンプ	34.3%	29.9%	26.8%	26.8%	31.3%	27.0%	24.1%	-
CT	55.9%	56.5%	52.9%	51.1%	51.3%	52.9%	53.8%	-

ポイント

ポンプ

- 標準ポンプは建築設備市場の回復などにより受注・売上・営業利益が増加 (+)
- カスタムポンプは中国で受注・売上・営業利益が増加、国内で製品の収益性が改善し増益 (+)
- 国内公共向けの受注が増加

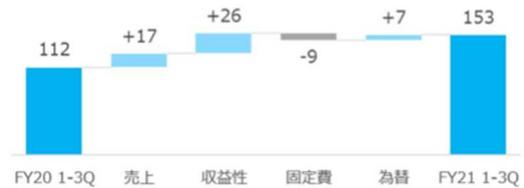
コンプレッサ・タービン (CT)

- コロナ影響が緩和しサービス&サポート (S&S) の受注が増加
- 売上は製品・S&S共に減少
- 製品の収益性改善により増益 (+)

冷熱

- 中国市場の需要は堅調で受注・売上が増加
- 国内ではS&Sの減収により収益性が低下 (-)

営業利益増減要因分析 (単位：億円)



続いて、主要セグメントごとの業績内容についてご説明いたします。それでは、7ページをご覧ください。

まず、風水力事業についてです。

受注に関しては、前年同期から362億円増の2,585億円。売上に関しては、170億円増の2,378億円。

営業利益は40億円増の153億円で、主にポンプ事業が牽引して全体として増収増益となりました。

それでは、サブセグメント別に業績を見ていきます。

まずポンプ事業では、前年同期と比較して増収増益となりました。

建築設備市場ではグローバルで需要回復の動きが見られて、今年の春に買収したトルコのポンプメーカー、これは名前を、バンサン社と申しますけれども、こちらも業績に貢献いたしております。

それから石油・ガス市場では、期初より中国での石油化学プラント向けの新設案件等が好調に推移しておりましたけれども、3Qの単独四半期では需要の伸びに一服感が見られました。一部では、

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



資材高騰の影響や部材調達遅れなどが生じておりますが、営業利益は、建設設備市場での増収に加えて、カスタムポンプにおける継続的な収益改善施策による増益となっております。

次に、コンプレッサ・タービン事業です。これは減収増益でした。原油価格もコロナ禍以前の水準まで回復しており、中東やインドなども投資案件に動きが見られました。

また、北米においては、コロナの影響による営業活動の制限も改善の傾向にあって、受注は主にサービス&サポートで前年同期を上回っております。

売上は、期初の受注残の減少による減収となっておりますけれども、営業利益については、製品の選択受注、それから原価低減などの収益性の改善が持続しております。

冷熱事業は、増収減益でした。こちらは、中国市場での受注・売上は非常に好調だったんですけれども、国内市場では、緊急事態宣言下のサービス&サポート需要の伸び悩みが影響して、減収減益となっております。

セグメントの損益の詳細につきましては、12 ページ以降に数値を載せておりますので、そちらを併せてご確認ください。

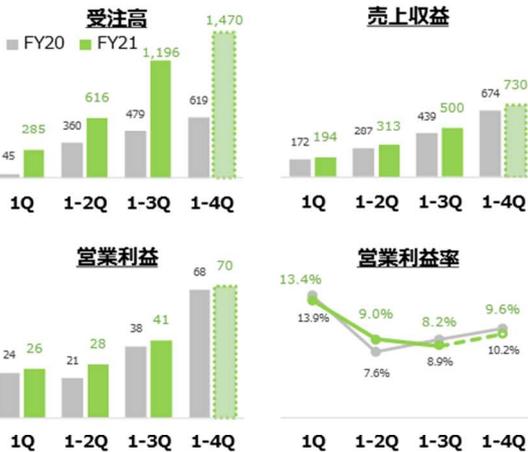
サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

2. FY21 1-3Q セグメント別業績 環境プラント



業績推移 (単位: 億円)



ポイント

- 受注高**
 - 3Qに大型案件を2件受注
- 売上収益**
 - EPC*の売上が増加
- 営業利益**
 - 増収効果 (+)
 - ミックスの悪化により収益性が低下 (-)

主要受注案件

FY20 1-3Q	FY21 1-3Q
<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理施設DBO* : 1件 長期包括運転・管理契約 : 1件 ごみ処理施設延命化 : 1件 	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理施設DBO : 2件 (うち3Q : 1件) ごみ処理施設改修・長期包括契約 : 2件 (うち3Q : 1件) 長期包括運転・管理契約 : 1件

*DBO: EPC及びプラントの長期運営・管理 *EPC: プラントの設計・調達・建設

営業利益増減要因分析 (単位: 億円)



次に、8 ページ目をご覧ください。こちらは、環境プラント事業になります。

受注に関しては、前年同期から 716 円増の 1,196 億円。売上に関しては、60 億円増の 500 億円。営業利益は、2 億円増の 41 億円で増収増益となりました。

受注案件は、こちらのページの左下のほうに、主要受注案件に記載のとおりでございます。ごみ処理施設の大型案件を上半期に 3 件受注してございましたけれども、3Q も計画どおりに大型案件を 2 件受注しまして、受注は 1,000 億円超えと好調に推移いたしました。

前期と比較しまして、EPC の工事案件が増加したことで、増収とはなっておりますけれども、オペレーション&メンテナンスのミックスによって、収益性は低下いたしました。

サポート

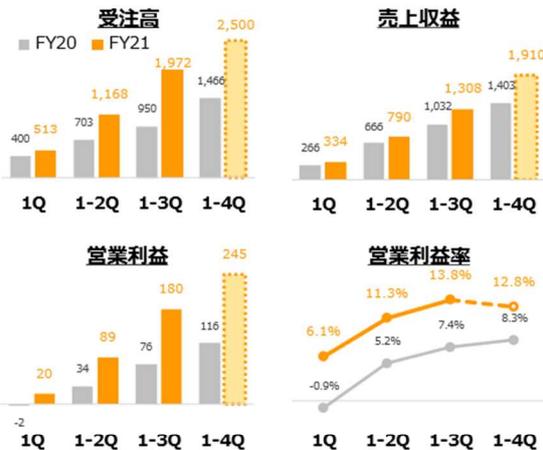
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



2. FY21 1-3Q セグメント別業績 精密・電子



業績推移 (単位：億円)



ポイント

受注高

- 半導体市場の設備投資は高水準で推移
- コンポーネント、CMP共に好調

売上収益

- 好調な受注により増収
- コンポーネント、CMP共にS&Sが増加

営業利益

- 増収効果 (+)
- CMPの案件ミックスとS&Sの増加により収益性が改善 (+)
- 人件費と自動化工場関連の固定費が増加 (-)

営業利益増減要因分析 (単位：億円)



地域別売上収益

FY21 1-3Q (単位：億円)	日本	アジア (日本 除く)	北米	欧州	その他	合計
売上収益	378	737	122	60	9	1,308
増減* (対FY20 1-3Q)	↗	↗	↗	↗	↗	↗

* ↗は+5%以上、↘は-5%以下の変化を、→は変化が±5%未満であることを表す

9 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead Beyond

次に、9 ページをご覧ください。こちらは、精密・電子事業になります。

受注は前年同期から 1,022 億円増の 1,972 億円。売上が 276 億円増の 1,308 億円。

営業利益は 104 億円増の 180 億円で、受注・売上・営業利益は過去最高と好調に推移いたしました。

半導体市場においては、顧客全般での設備投資は引き続き高い水準で推移しておりまして、お客様より早期に発注いただける動きもあって、受注は大きく伸長しています。製品、サービス&サポートともに増収となりました。

営業利益は、増収に加えて CMP 事業において案件ミックスが改善したこと、それから顧客の高い工場稼働率状況によって、サービス&サポートの売上が増加したことで、収益性の改善に寄与しました。また、ドライ真空ポンプの自動化工場の稼働も順調に進捗していきまして、収益性の改善の効果も出てきております。

固定費に関しては、受注の拡大に対応した人件費や外注費の増加のほかに、自動化工場の関連固定費などが増加しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



3. FY21 業績予想 連結業績



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)	1-4Q				
	FY20 a	FY21 旧計画 21/08/13	FY21 計画 21/11/12 b	増減 b-a	増減率
受注高	5,112	7,010	7,310	+2,197	+43.0%
売上収益	5,224	5,915	5,915	+690	+13.2%
営業利益	375	560	560	+184	+49.1%
営業利益率	7.2%	9.5%	9.5%	+2.3pts	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	242	370	370	+127	+52.7%
為替レート(JPY/USD)	106.80	105.00	110.00		
ROIC	6.4%	9.3%	9.3%	+2.9pts	
1株当たり年間配当金	90円	130円	130円	+40円	
中間配当金	30円	50円	50円	+20円	
期末配当金	60円	80円	80円	+20円	

最後に、2021年の通期業績予想についてご説明させていただきます。こちら、10ページになります。

2021年の事業環境の認識でございますけれども、全体としてはコロナ禍からの経済活動正常化によって、当社の対面市場では需要回復が継続すると見えています。

また、半導体市場においては、顧客による設備投資が計画されていることから、さらなる成長が見込まれております。

通期の業績予想につきましては、半導体需要の拡大に鑑みて、前回8月の発表の予想から精密・電子事業の受注を300億円引き上げて、7,310億円といたしました。

売上利益面は、前回からの変更はございません。引き続き、今期計画である過去の最高益を目指して邁進してまいります。

以上で、決算に関する内容をご説明しました。どうもありがとうございました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



4. 補足資料 受注高



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)	FY20				FY21				
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q 旧計画 21/08/13	1-4Q 計画 21/11/12
連結合計	1,241	2,580	3,664	5,112	1,594	3,449	5,768	7,010	7,310
風水力	791	1,508	2,223	3,011	789	1,654	2,585	3,325	3,325
ポンプ	436	836	1,239	1,660	488	963	1,498	1,900	1,900
CT	236	430	610	871	175	404	676	900	900
冷熱	72	168	256	331	95	221	317	400	400
その他	45	73	116	147	30	64	93	125	125
環境プラント	45	360	479	619	285	616	1,196	1,470	1,470
精密・電子	400	703	950	1,466	513	1,168	1,972	2,200	2,500
コンポーネント	162	316	456	632	203	445	738	830	930
CMP	219	359	450	779	280	680	1,182	1,300	1,500
その他	18	28	43	54	30	42	52	70	70
その他	4	7	11	14	5	9	13	15	15

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

4. 補足資料 売上収益



(単位:億円) 発表日(年/月/日)	FY20				FY21				
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q 即時集 21/09/13	1-4Q 計集 21/11/12
連結合計	1,234	2,454	3,690	5,224	1,352	2,741	4,199	5,915	5,915
風水力	790	1,493	2,207	3,132	819	1,628	2,378	3,260	3,260
ポンプ	465	819	1,200	1,681	524	962	1,370	1,830	1,830
CT	213	440	663	958	166	405	622	910	910
冷熱	74	167	247	355	86	190	284	390	390
その他	36	65	96	137	41	71	100	130	130
機械プラント	172	287	439	674	194	313	500	730	730
精密・電子	266	666	1,032	1,403	334	790	1,308	1,910	1,910
コンポーネント	137	284	430	600	184	375	572	800	800
CMP	114	353	560	740	138	368	691	1,070	1,070
その他	14	29	41	63	11	26	44	40	40
その他	4	7	11	14	4	8	12	15	15

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

4. 補足資料 営業利益



(単位:億円) 発表日(年/月/日)	FY20				FY21				
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q 四半 21/08/13	1-4Q 累計 21/11/12
連結合計	60	127	220	375	122	248	373	560	560
風水力	46	78	112	198	79	134	153	250	250
ポンプ	46	59	64	92	76	100	105	140	140
CF	-7	10	31	77	-6	17	31	80	80
地熱	5	11	12	19	3	8	9	22	22
その他	2	-2	5	9	7	7	6	8	8
地産プラント	24	21	38	68	26	28	41	70	70
積産・電子	-2	34	76	116	20	89	180	245	245
その他、調整	-7	-7	-8	-7	-3	-2	-1	-5	-5

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

4. 補足資料 受注残高



(単位:億円) 発表日(年/月/日)	FY20				FY21				
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q 前年 21/08/13	1-4Q 計画 21/11/12
連結合計	4,817	4,930	4,774	4,675	4,984	5,461	6,337	5,770	6,070
風水力	2,093	2,098	2,091	1,942	1,966	2,032	2,222	2,007	2,007
ポンプ	899	943	967	909	891	943	1,070	979	979
CT	947	908	856	810	850	834	894	800	800
冷熱	153	157	166	130	142	168	171	140	140
その他	92	89	101	92	81	85	85	87	87
機械プラント	2,188	2,390	2,361	2,267	2,362	2,574	2,969	3,007	3,007
精密・電子	536	440	320	465	654	853	1,144	755	1,055
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0

4. 補足資料

地域別売上収益



(単位: 億円)	FY20				FY21		
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q
風水力	790	1,493	2,207	3,132	819	1,628	2,378
日本	419	682	932	1,306	416	671	932
アジア (日本除く)	162	392	655	961	231	495	803
北米	90	135	233	291	54	140	192
欧州	50	145	195	293	53	146	187
中東	44	89	118	168	33	97	129
その他	24	47	72	111	30	78	132
環境プラント	172	287	439	674	194	313	500
日本	170	273	416	636	191	304	469
アジア (日本除く)	2	13	23	37	2	9	30
精密・電子	266	666	1,032	1,403	334	790	1,308
日本	72	161	287	401	91	236	378
アジア (日本除く)	140	404	590	788	184	431	737
北米	36	69	99	127	40	81	122
欧州	12	24	46	73	13	35	60
その他	4	6	8	11	3	5	9

※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasasia.com

4. 補足資料

貸借対照表



(単位: 億円)	FY20 3Q	FY20 4Q	FY21 3Q	増減	増減
	a	b	c	c-a	c-b
資産合計	6,478	6,447	6,917	+438	+469
流動資産	4,472	4,400	4,718	+246	+318
現金及び現金同等物	1,587	1,205	1,371	-216	+166
営業債権	1,657	2,000	1,846	+188	-154
棚卸資産	1,025	1,016	1,258	+232	+241
その他流動資産	201	177	243	+41	+65
非流動資産	2,005	2,047	2,198	+192	+151
負債合計	3,654	3,478	3,852	+198	+374
営業債権	1,161	1,297	1,338	+177	+41
有利子負債	1,285	983	1,125	-160	+141
その他負債	1,207	1,198	1,388	+181	+190
資本合計	2,823	2,968	3,064	+240	+95
自己資本	2,754	2,895	2,976	+222	+80
その他資本	69	73	88	+18	+14
自己資本比率	42.5%	44.9%	43.0%	+0.5pts	-1.9pts
D/Eレシオ	0.47	0.34	0.38	-0.09	+0.04

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

4. 補足資料

キャッシュ・フロー

発表日(年/月/日)	1-3Q			1-4Q			
	FY20	FY21	増減	FY20	FY21 目録値 21/08/13	FY21 計画 21/11/12	増減
	a	b	b-a	c		d	d-c
営業活動CF	667	651	-16	688	450	550	-138
投資活動CF	-207	-331	-124	-292	-430	-360	-67
フリーCF	460	319	-141	396	20	190	-206
財務活動CF	176	-181	-357	-143	-290	-310	-166

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

